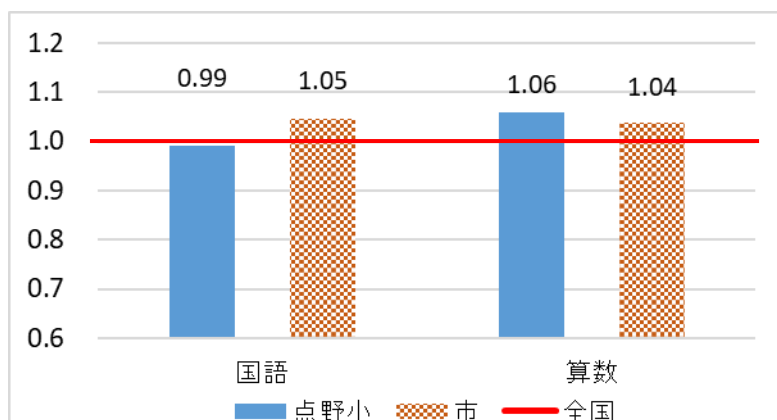


令和3年度 全国学力・学習状況調査について
第八中学校区 点野小学校 第6学年

○調査結果（全国平均を1とした場合の平均正答率の比）



○調査結果についての分析、今後の改善方策

【 国 語 】

「知識及び技能」の「(1) 言葉の特徴や使い方に関する事項」領域の「学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使う」と、「思考力、判断力、表現力等」の「書くこと」領域の「自分の主張が明確に伝わるように、文章全体の構成や展開を考える」問題が全国平均を上回る結果であった。しかし、「読むこと」領域に課題があり、授業の中で力を入れ、読解力の向上を図る必要がある。

【 算 数 】

「測定」の「二つの道のりの差を求めるために必要な数値を選び、その求め方と答えを記述できる」問題と「変化と関係」の「速さが一定であることを基に、道のりと時間の関係について考察することができる」問題が全国平均を上回る結果であった。引き続き、身近な事象に照らし合わせ、数理的に捉える習慣を身に付けられるような学習活動をしていく。

【質問紙調査】

「自分には良いところがあると思いますか」の質問に肯定的に回答した児童の割合は、令和元年度より全国平均を上回っている。児童たちが主体的に取り組む活動を推進するとともに振り返りを行ったことで心の成長が見られたと考える。また、「将来の夢や目標をもっていますか」の質問には今年度全国平均を上回る結果がでている。しかし、「家で計画を立てて勉強していますか」の質問に肯定的な回答をした児童の割合は低い。今後も家庭学習定着の取組に力を注いでいく。

○学力向上の取組

【 中 学 校 区 】

小中学校間での授業参観・討議会を行い、9年間を見据えた授業改善の取組を年3回行っている。学力部会では、校区全体での課題を見つけ改善している。

【 学 校 】

子どもたちの自己肯定感を向上させる取組として、主体的な児童会活動や委員会活動を行うとともに、基礎基本の定着をめざす習熟度別分割授業を実施している。また高学年の自主学習ノートや力だめしテストを実施するとともに、年度初めには家庭学習の手引きを配付し、家庭と連携した家庭学習の強化にも取り組んでいる。